



令和7年度 函館市文学館企画展

「森本貞子・宇江佐真理 収蔵資料展」

今年生誕100年となる函館生まれのノンフィクション作家 森本貞子。また同じく函館出身で、没後10年の時代小説作家 宇江佐真理の両氏に焦点を当て、函館市文学館の所蔵品の中から普段見ることのできない収蔵資料を展示します。

森本 貞子 (1925年～2023年)

函館市青柳町生まれ。5歳の時に東京に移る。昭和18年、東京府立第一高等女学校を卒業し、同年森本良平氏と結婚。主な著書に『女の海溝 トネ・ミルンの青春』『冬の家 島崎藤村夫人・冬子』『秋霖譜 森有礼とその妻』など。



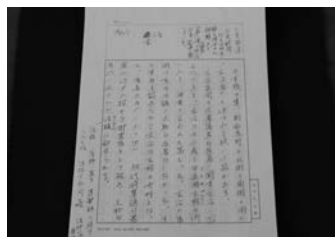
森本貞子
『女の海溝』自筆原稿



森本貞子
「函館を語る」自筆原稿

宇江佐 真理 (1949年～2015年)

函館市生まれ。本名伊藤香。函館大谷女子短期大学卒業。『幻の声』でオール讀物新人賞、『深川恋物語』で吉川英治文学新人賞、『余寒の雪』で中山義秀文学賞を受賞。髪結い伊三次等シリーズ作品も多数。エッセイ『ウエザ・レポート』など。



宇江佐真理
『玄治店の女』草稿



宇江佐真理 ノート
「佐藤泰志について」ほか

会 期 令和7年

9月13日(土) ▶ 11月9日(日)

問合せ 函館市文学館 TEL:0138-22-9014

〈10月8日(水)～10日(金)は館内整理のため休館〉

主な
展示
資料

- 森本貞子
 - 自筆原稿『女の海溝 トネ・ミルンの青春』
 - 自筆原稿「函館を語る」
 - 『冬の家 島崎藤村夫人・冬子』表紙原画
- 宇江佐真理
 - 草稿『玄治店の女』
 - ノート「佐藤泰志について」ほか
 - 第75回オール讀物新人賞受賞トロフィー (受賞作『幻の声』)

関連事業の
ご案内

文学のひととき第1回「トネ・ミルンの青春」

【講師】櫻井健治氏(日本近代文学会会員) 【定員】30名(要申込)

【日時】10月25日(土)14:00 【参加料】500円(友の会会員400円)



函館市文学館

函館市末広町22-5
TEL(0138)22-9014

入館料 一般:300円

学 生(小学生～大学生):150円

※20名様以上の団体は2割引



【主催】公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団